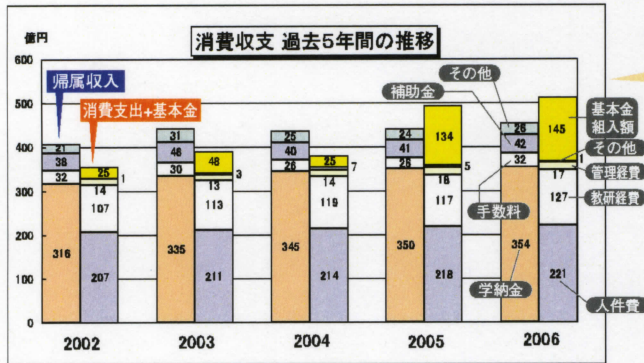
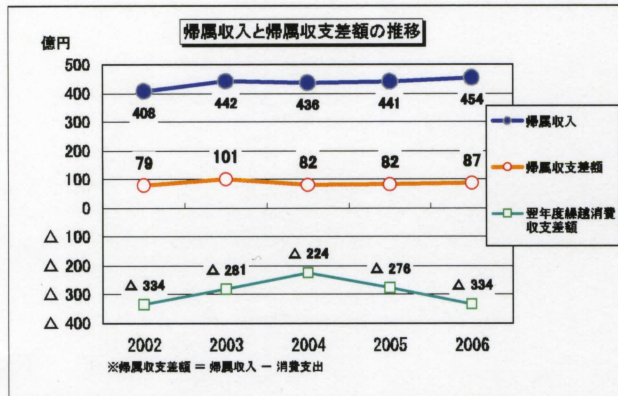


当期の決算について、その概況をご報告いたします。

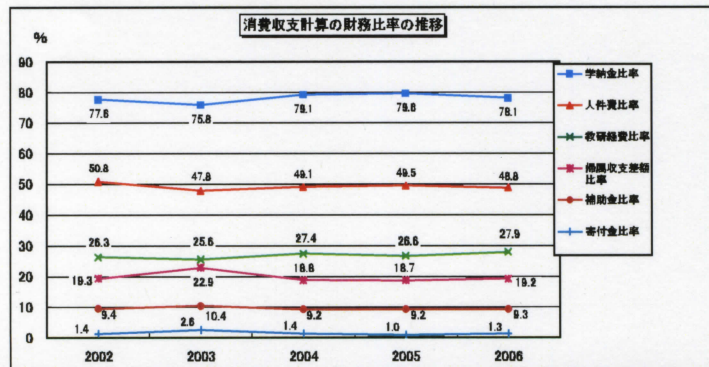
消費収支の推移



志願者数の増などにより帰属収入が増加しました。また、中学高等学校の新校舎建設工事相当額、奨学基金などにより基本金組入額が増加しました。

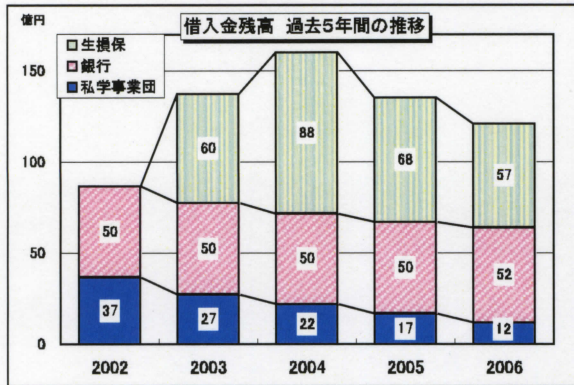
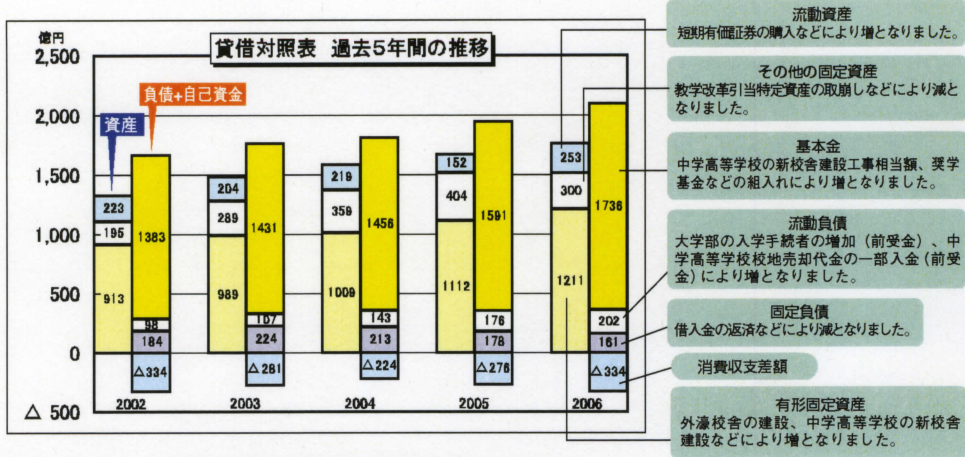


志願者数の増などにより帰属収支差額比率は19.2%と、本学が目標としている10%を上回りました。

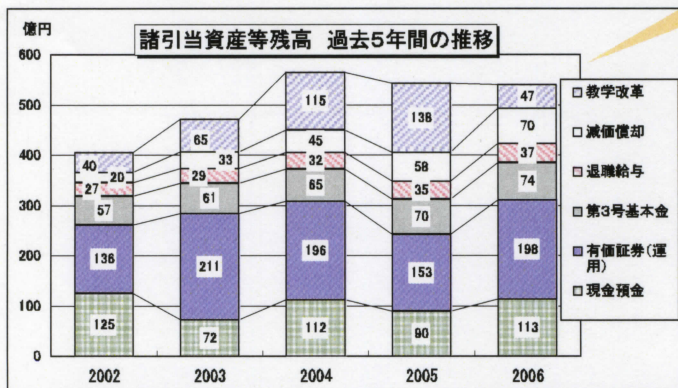


(注) 比率は、各々の帰属収入に対する割合を示している

■ 貸借対照表の推移

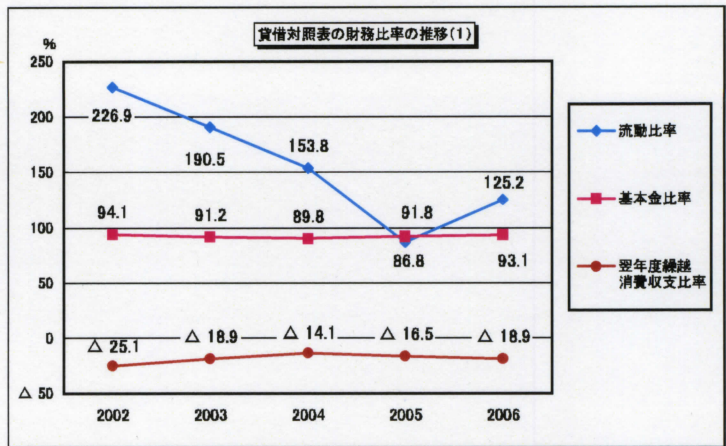


2006年度については、新規の借り入れが、返済額を下回ったため、借入金全体では残高が減少しました。

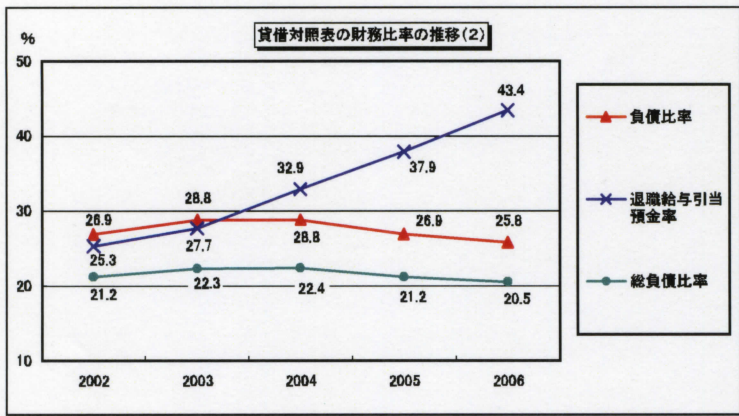


教学改革引当特定資産の取崩しを行いました。また、短期有価証券の購入により、有価証券が、増加しました。

固定資産である
 教学改革引当特定資
 産の取崩し、およ
 び、短期有価証券
 の購入により、流
 動比率は増加しま
 した。



(注) 流動比率：短期的な負債の償還に対する流動資産の割合で、支払能力を示す指標
 基本金比率：100%に近いほど基本金の未組入額が少ないことを示す
 翌年度繰越消費収支比率：翌年度繰越消費収支差額の総資金に占める割合



退職給与引当預金
 率は改善傾向にあ
 ります。負債比率、
 総負債比率も借入
 金返済などにより
 2006年度は改善
 しました。

(注) 負債比率：他人資金が自己資金を上回っていないかを示す指標
 退職給与引当預金率：退職給与引当金に見合う資産を、どの程度保有しているかを示す指標
 総負債比率：負債総額の総資産に対する割合で、50%を超えると負債が自己資金を超過していることを示す

財務の概要

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、予算と決算の対比による主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	35,022	35,412	△ 389
手数料収入	2,268	3,153	△ 885
寄付金収入	412	461	△ 49
補助金収入	3,210	4,228	△ 1,018
資産運用収入	537	723	△ 186
資産売却収入	3,000	3,500	△ 500
事業収入	427	293	134
雑収入	708	970	△ 262
借入金等収入	9,001	4,001	5,000
前受金収入	7,721	12,637	△ 4,917
その他の収入	8,574	11,564	△ 2,990
資金収入調整勘定	△ 8,415	△ 11,406	2,991
当年度資金収入合計	62,465	65,535	△ 3,070
前年度繰越支払資金	10,424	8,965	
収入の部合計	72,889	74,500	△ 1,611

大学の志願者数が見込みを上回りました。

国庫および地方公共団体からの補助金の収入が見込みを上回りました。

有価証券の売却を予定より増額しました。

建設事業の一部延期などにより、借入金を減額しました。

大学の入学手続者が見込みを上回りました。また、中学高等学校校地売却代金の一部が入金となりました。

教学改革引当特定資産の取崩し、および退職給与引当特定資産からの繰入収入が予算を上回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	23,655	22,804	851
教育研究経費支出	9,678	9,261	418
管理経費支出	1,447	1,447	0
借入金等利息支出	181	112	69
借入金等返済支出	4,900	5,400	△ 500
施設関係支出	15,764	11,631	4,133
設備関係支出	2,594	1,847	747
資産運用支出	3,496	11,357	△ 7,861
その他の支出	863	1,592	△ 729
[予備費]	(167) 533	—	533
資金支出調整勘定	△ 801	△ 2,221	1,420
当年度資金支出合計	62,310	63,229	△ 919
次年度繰越支払資金	10,579	11,271	△ 692
支出の部合計	72,889	74,500	△ 1,611

年金への繰入が当初計画を下回りました。

次期情報システム開発が延期となったことなどにより、見込みを下回りました。

建設事業の一部が延期となったため、見込みを下回りました。

有価証券の購入を行ったことによります。

過年度の未払金の支払が見込みを上回りました。

当年度資金収支差額	155	2,306	△ 2,151
-----------	-----	-------	---------

(注1) 上記の表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。なお、以下の表についても同様である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

資金収支計算の中の経常的収支計算

(単位:百万円)

		予 算	構成率(%)	決 算	構成率(%)	差 異
(A) 経常的 収 入	総額	35,022		35,412		△ 389
	(△) 教育充実費	△ 7,349		△ 7,461		113
	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	27,674	79.1%	27,951	74.4%	△ 277
	手 数 料 収 入	2,268	6.5%	3,153	8.4%	△ 885
	総額	412		461		△ 49
	(△) 特定資金のための寄付金	△ 130		△ 99		△ 30
	寄 付 金 収 入	282	0.8%	362	1.0%	△ 80
	総額	3,210		4,228		△ 1,018
	(△) 研究設備補助金他	△ 107		△ 101		△ 5
	補 助 金 収 入	3,104	8.9%	4,127	11.0%	△ 1,023
資 産 運 用 収 入	537	1.5%	723	1.9%	△ 186	
事 業 収 入	427	1.2%	293	0.8%	134	
雑 収 入	708	2.0%	970	2.6%	△ 262	
計	34,999	100.0%	37,577	100.0%	△ 2,578	
(B) 経常的 支 出	総額	23,655		22,804		851
	(△) 退職金支出	△ 1,004		△ 1,430		426
	退 職 資 産 へ の 繰 入 支 出	1,644		1,644		0
	人 件 費 支 出	24,295	69.4%	23,018	61.3%	1,277
	総額	9,678		9,261		418
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 568		△ 387		△ 181
	教 育 研 究 経 費 支 出	9,110	26.0%	8,874	23.6%	236
	総額	1,447		1,447		0
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 26		△ 48		21
	管 理 経 費 支 出	1,420	4.1%	1,399	3.7%	21
借 入 金 等 利 息 支 出	181	0.5%	112	0.3%	69	
計	35,006	100.0%	33,402	88.9%	1,604	
(C)	(A - B) 経常的収支差額	△ 7	0.0%	4,174	11.1%	△ 4,182

(注1) 経常的支出の各構成率は、経常的収入合計に対する比率である。

(注2) 予算額は予備費充当後の金額である。

「経常的収支計算」は、本学が独自に資金収支計算のうちから、施設設備に係わる収支などを除き、経常的収支に関する部分を抽出して作成したものです。

手数料収入および補助金収入が見込みを上回ったこと、人件費および教育研究経費が見込みを下回ったことなどにより、経常的収支差額は予算を4,182百万円上回る収入超過となりました。また、経常的収支差額比率（経常的収支差額の経常的収入合計に対する比率）は11.1%と、予算を11.1ポイント上回りました。

(2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	35,022	35,412	△ 389
手数料	2,268	3,153	△ 885
寄付金	412	578	△ 167
補助金	3,210	4,228	△ 1,018
資産運用収入	537	723	△ 186
事業収入	427	293	134
雑収入	708	970	△ 262
帰属収入合計	42,584	45,356	△ 2,772
基本金組入額合計	△ 13,987	△ 14,478	491
消費収入の部合計	28,597	30,879	△ 2,282

(消費支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	22,929	22,123	806
教育研究経費	13,053	12,672	381
(内減価償却額)	(3,375)	(3,409)	(△ 34)
管理経費	1,700	1,706	△ 6
(内減価償却額)	(253)	(258)	(△ 5)
借入金等利息	181	112	69
資産処分差額	0	20	△ 20
徴収不能額	0	1	△ 1
[予備費]	(167) 233	—	233
消費支出の部合計	38,096	36,633	1,463

帰属収支差額	4,488	8,723	△ 4,235
帰属収支差額比率	10.5%	19.2%	—
当年度消費支出超過額	9,499	5,754	
前年度繰越消費支出超過額	32,415	27,599	
翌年度繰越消費支出超過額	41,914	33,353	

(注1)

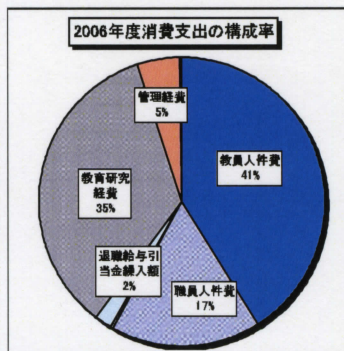
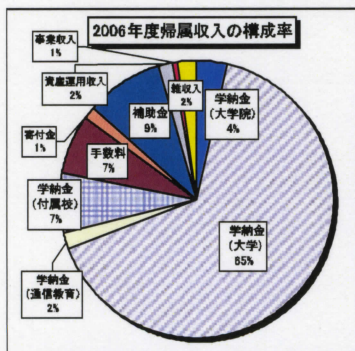
帰属収支差額=帰属収入-消費支出

(注2)

帰属収支差額比率=帰属収支差額÷帰属収入×100

(注3)

予算額は、予備費充当後の金額である。



(3) 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	151,172	151,633	△ 462
	有形固定資産	121,140	111,226	9,913
	その他の固定資産	30,032	40,407	△ 10,375
	流動資産	25,261	15,245	10,017
合 計		176,433	166,878	9,555

(負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	16,061	17,840	△ 1,779
	流動負債	20,170	17,559	2,611
	計	36,231	35,399	832
基本金		173,555	159,077	14,478
消費収支差額		△ 33,353	△ 27,599	△ 5,754
合 計		176,433	166,878	9,555

(参考)

正 味 資 産	140,202	131,478	8,723
---------	---------	---------	-------

※ 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

減価償却額の累計額	56,370	53,550	2,820
基本金未組入額	12,949	14,230	△ 1,281

[貸借対照表注記事項] (抜粋)

(1) 有価証券の時価情報 (単位：百万円)

貸借対照表計上額	時価	差額
42,252	42,958	706

(2) 学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社

a. 株式会社エイチ・ユー

<事業内容>

- ・書籍・文具・事務機器等の販売
- ・建物内外の清掃・保守管理・警備
- ・印刷業
- ・一般及び特定労働者派遣事業
- ・有料職業紹介業
- ・一般土木建築工事業 など

b. 法政ナレッジ・クリエイト株式会社

<事業内容>

- ・各種国家試験、各種資格取得のための講習会の企画、開催及び運営
- ・社会人及び学生・生徒に対するビジネス、教育、心理、外国語、情報処理、一般教養及び趣味に関する教養講座の企画、開催及び運営
- ・講演会、各種セミナー等による情報提供業務、各種研修の受託
- ・各種イベントの企画及び運営 など